

## 国公立大前期まで 計 212 (69) 名合格

\* 医学部合格者を含む。( ) は既卒生で内数。

東京大 4 (2) 京都大 3 (1) 大阪大 9 (5) 神戸大 11 (4)  
九州大 27 (4) 北海道大 4 (2) 東北大 1 (1) 名古屋大 1 (0)

岡山大 20 (6) 広島大 12 (2) 山口大 57 (17)  
新潟大 1 (0) 筑波大 1 (1) 千葉大 1 (1)  
お茶の水大 2 (0) 電通大 1 (0) 東京農工大 1 (0)  
横国大 1 (1) 静岡大 1 (1) 岐阜大 1 (1)  
名工大 1 (0) 奈良女子大 1 (0) 島根大 1 (1)  
香川大 1 (1) 愛媛大 3 (2) 高知大 1 (0)  
九工大 3 (1) 福教大 1 (1) 佐賀大 1 (0)  
長崎大 6 (3) 熊本大 6 (3) 大分大 3 (1)  
鹿児島大 2 (1) 鹿屋体大 1 (0)

国際教養大 1 (0) 東京都立大 1 (1) 京都府大 1 (1)  
大阪府大 1 (0) 神戸市看護大 1 (1) 神戸市外語大 3 (1)  
岡山県立大 2 (1) 山口県立大 3 (0) 山口東京理大 2 (0)  
北九州市大 6 (1) 長崎県立大 1 (0)

## 医学部医学科 計 18 (10) 名合格

山口大 10 (5) 九州大 1 (0) 岡山大 1 (0) 筑波大 1 (1)  
自治医・防衛医大 2 (1) 私立大 3 (3)

## 主な私立大 計 415 (197) 名合格

早稲田大 15 (8) 慶應大 3 (1) 中央大 9 (3) 明治大 8 (7)  
東京理科大 3 (2) 法政大 6 (5) 青山学院大 3 (1) 上智大 3 (1)  
同志社大 21 (15) 立命館大 60 (29) 関西学院大 14 (3)  
関西大 10 (3) 西南学院大 34 (14) 福岡大 50 (26)

\* 私立大の合格は本人の報告に従っています。

## かつてない逆境の中での挑戦

季節はもう春。あっという間に1年が過ぎていき、令和2（2020）年度大学入試も一部の私立大と中後期国公立大の発表を残してほぼ終わりました。

左の表は先輩たちの前期までの結果です。**難関大合格者数は2000年以降で最高の数字**となるでしょう。また、**医学部・医学科合格者もこれまでにない高水準の結果**です。他大学の結果も含めて、合格した人も残念だった人も、3年生たちは本当によく頑張ったと思います（そして彼らを支えてきた保護者の方や先生方も）。

制度改革を翌年に控えた入試は「新旧制度の比較」「浪人した場合の不利益」などに眼が向いてしまい、受験者にとって余計な心配事が増えます。今年はそれに加えてセンター試験の平均点が伸びず、受験先の選定に悩んだ人も多くいました。おまけに「コロナ」…。このような要因が重なり中堅大の入試が非常に難しくなったこと、後期受験の実施方法が大学ごとに変更され、実力が結果に反映されにくくなったことは今年の入試の特徴の一つです。**怠け者にとって入試が難しいのは当然ですが、真面目な生徒にまで余計な負担や心痛が強いられました。そんな逆境にめげずに、3年生たちは立派な成績を残してくれました。**

3年生が逆境の中でここまでの結果が出せたのはなぜか？ これについても要因は様々あると思いますが、確信をもって言えるのは「**大学進学を意識して1、2年次からきちんと取り組んできた人**」、「**その時その時に為すべきことをきちんと果たしてきた人**」が多い学年だったということです。また、先生方が「生徒の目指すべき目標」や「彼らが今のうちにやるべきこと」などをタイムリーに提示され、刺激を与え続けてこられたことも大きかったのではないのでしょうか。こうしてみると生徒と教員の互いの最善の努力がすばらしい結果につながったとも言えるでしょう。

## 今の状況を変えるために「何もしない」はない

**さあ、2年生のみなさん、いよいよみなさんの出番です！ 受験に参加する「心構え」はできてますか？** 今年の3年生が残してくれた教訓に従えば、皆さんに求められることは「**自分をきちんと鍛えること**」に尽きます。もちろん、制度変更への対応や入試結果の分析も必要ですが、制度改革も急に延期され、世の中何が起るかわからないことはこの一年間の出来事が十分示してくれました。予想のできない世の中に合わせて、右往左往しながら我が身の振り方を変えていくよりも、先輩の残してくれた教訓に従い、「**基礎・基本を疎かにせず、受験生としてやるべきことをきちんとやる**」、この鉄則を大事にして受験生としての自分を作り上げてください。**1年生の皆さん、甘えは捨てましょう。学習時間が少ない人が1年生には目立ちます。「3年になれば何**

とかなるんじゃないか、高校入試の時は何とかいけたぞ」・・・そんな幻想は捨ててください。  
「今、勉強していない人が、将来勉強するようになる保証」はどこにもありません。「今、勉強している人」が「今」を積み上げていって、ハタから見ればすごいところにたどり着いた、というのが今年の3年生の結果ではないでしょうか？ **3年になってからの短期間の勉強で何とかなるほど大学入試は甘くありません。**

## ピンチ？ いやチャンスでしょう！

皆さんの知性をガンガン刺激してくれて、学ぶことに喜びを感じさせてくれるような場所、すごいヤツがたくさんいて向上心をかき立ててくれるような場所、そこで学ぶことによって将来の生き方の選択肢を広げてくれるような場所、そんな場所なら誰でも行ってみたいですね。でも、**価値ある場所に行きたいのなら、自分自身が汗を流しなさい**。ちょっと古いですが**世の中は「等価交換」**（from「鋼の錬金術師」）なのです。1年生も2年生も「今の努力」を始めている人は今すぐ始めること！ コロナのせいで日本の多くの高校は登校しての学習ができない状況にあります。でも、コロナのせいで勉強できない!? 塾に行くしかない!? そんなことはないでしょう。**部活もできない今年の3月は、例年の生徒以上に「宿題」+「1年間の学びの見直し」が十分にできるはず**です。皆さんにとってこの期間はピンチでもマイナスでもない。**自分の学びに対する姿勢や自分の学習状況を見直す絶好のチャンス**です。高校に入って初めての**「勉強に専念する」**チャンスなのです。この**絶好の機会を活用できる人は必ず最高のゴールに到達できます**。山高生の皆さん、運命が皆さんに押しつけたこの機会を活用しない手はないですよ。**今日を機会に、今から変わってみませんか？ 将来の自分のために、今の自分を変えてみませんか？** 皆さんが変わるなら我々も協力を惜しみませんよ。

繰り返しになりますが、2年生にとってこの春は本気で「準備」に「動き出す／始める」絶好のチャンスですが、**もし動き出さなければ、おそらく3年の夏まで「準備」のスタートが遅れます**。重い遅れです。この3か月から5か月の遅れがなければ、浪人した先輩たちの大半が現役合格に間に合ったはずですから。

1年生にとっても、この春は本当の高校生として、そして未来の受験生としてスタートするための絶好のチャンスです。「来年への準備／今年の復習」にこの春動き出せるかどうか。復習に「動き出す」こと。それが自分の未来を変えられるかどうかの、最大のポイントです。

## 自分はどうあるべきか？

2年生の皆さん（1年生の皆さんも）、この1年、自分の「脳」を「わくわくさせ／喜ばせ」ようと意識していましたか（難関大集会の話思い出してね）。「嫌だ」とか、「つまらん」とか自分にストップをかける否定語を使っていたりしてないですか？ ぐんぐん伸びていく人は、脳を正しく喜ばせる人です。そんな人は、

- ① **すぐに決断し、実行する。**
- ② **感度のいいアンテナを持っている。**
- ③ **おしゃべりで、よく笑い、自然に仲間ができる。**
- ④ **疲れな脳を持っている。**
- ⑤ **ものすごく悔しがる。**
- ⑥ **小さな達成を繰り返す。**
- ⑦ **一つ上をめざしている。** という特徴を持っています。

そして、現役で「難関大／大学」に合格するためには、

- ① **偏差値でなく、素点でめざす。**
- ② **英語を得意科目にする。**
- ③ **小テスト、課題考査、定期考査にこだわる。**
- ④ **テストは「何が、どこができなかったか」を大切にす。**
- ⑤ **駿台全国模試をひるまず続けて受ける。**
- ⑥ **部活を勉強ができない口実にしな。**
- ⑦ **本気で医学部をめざすなら、泣き言を言わない。**
- ⑧ **一つ上をめざす！** が必要です。

**本気で上を目指した方がいい**と絶対に思います。自分に負荷をかけて本気で走らないと走力も持久力も向上しないように、学力伸長のためには**一つ上を目指すことで「自分に負荷をかけるべき時にかける」**ことが欠かせません。また、人間は「妥協する」生き物です。何をしてもつい「これくらいでいいか」と妥協的に負荷を設定してしまいます。それを防ぎ、力を出し切するためにも「一つ上を目指す」姿勢が必要です。

さらに日本では学習環境や学費、学問のレベル、研究予算・内容において国立大学にハズレが少なく、地方の高校生が学ぶ上で適していると思います。そこで、山口高校の進路における全体指導では、国公立大学を主として「一つ上の大学を目指せ」と言っているわけです（もちろん私大受験を否定するものではありません）。また、国公立大学受験では共通テストの受験が欠かせません。しかし、普段から学力を高めることを怠っていた人がもし共通テストで失敗すれば、「受ける大学がどこにもない」「前期は受験できて後期はどうしようもない」という事態に陥ってしまいます。普段から「一つ上」を目指していればそのような最悪の事態は回避できるのではないのでしょうか。本当の受験には時間と手間がかかります。**時間がきた今こそが「天与の好機」。そう思っみんなスタートを切りましょう。**